

アジアの“現在”に触れた旅



マレーシア独立広場

18歳にして初めての海外。私はこの研修で、普段気づかなかつた何気ないことに気づきました。一つは、飛行機はとてもすごいことです。あたり前ですがあの大きな鉄の塊の中には、そこだけで世界が濃縮された

鈴木恵子
(五ノ神・高校生)

ように、各国のいろいろな人がいろいろな目的で乗っていて国際的な空間ですでにあります。

二つ目は時間の大切さです。日本との時差はたつた一時間ですが、夏の終わりというのもあり、増えたり減つたりする一時間は、たいへん貴重でした。

三つ目は、これはかなり真面目に思いましたが、自分が知らない所でいろいろな人たちがいろいろな生き方をしているということです。それを最初に感じた

のは、マレーシアの日本人学校を訪問した時でした。とにかく大規模で、設備も環境も人材もお金も、全てにおいてびっくりする程備わっている学校です。先生も生徒もとても賢く多忙で、私たちと生活の濃度が違いました。生徒の卒業後の進路は、ほとんどが日本の高校へ進学するので、家族と一緒に一人で帰国するそうです。スケールが違い国際的です。いろいろな生き方があるんだなあと感動しました。

マレーシアやシンガポールにいる人は、三ヵ国語を話せるのはあたり前だそうです。大陸統一の利点です。いろいろな人種がいて宗教があって、問題があつて、それでもみんな陽気で、人なつきがいいステキな国でした。

そこでいろいろな景色を見ることができて、本当に良かったです。またいつか行きたいし、今度はもっと身近な所も見てみたい。この研修に参加できて幸せでした。

◆青少年海外視察研修◆

光町の未来を担う青少年に、豊かな人格と広い国際感覚を備えてもらうため実施してきた青少年海外視察研修も、今年で10回を数え、112名の青少年が実際に海外の生活を体験してきました。

今年は8月21日から25日までの5日間、マレーシア・シンガポールの2ヶ国を訪れました。

マレーシア日本人学校では、日本からの訪問を心よく受け入れてくれ、現地で日本人学生が異文化、言葉の壁の中で勉学に励んでいる様子をうかがいました。シンガポールではボランティア団体と共に老人ホームでのボランティア体験を通して、現地の青少年と交流を深めました。

この研修を通して、自然の美しさ、生活習慣の違いなど数々の体験や感動を胸に帰国しました。

齊藤聖
(橋場・大学生)

普段の生活の中でASEANのニュースを耳にしない日はないでしょう。日本と深いつながりを持ち、発展し続ける国々。なかでも、シンガポールとマレーシアはメキメキと頭角を現わしています。

もちろん摩擦はあるでしょうが、それすら発展のエネルギーにしてしまいそうな印象を受けました。また、日本人学校も訪問しました。あいにく夏休み中という事で先生方とお話をしました。日本以上かと思われる程

は、マレーシアの日本人学校を訪問した時でした。とにかく大規模で、設備も環境も人材もお金も、全てにおいてびっくりする程備わっている学校です。先生も生徒もとても賢く多忙で、私たちと生活の濃度が違いました。生徒の卒業後の進路は、ほとんどが日本の高校へ進学するので、家族と一緒に一人で帰国するそうです。スケールが違う国際的です。いろいろな生き方があるんだなあと感動しました。

マレーシアやシンガポールにいる人は、三ヵ国語を話せるのはあたり前だそうです。大陸統一の利点です。いろいろな人種がいて宗教があって、問題があつて、それでもみんな陽気で、人なつきがいいステキな国でした。

そこでいろいろな景色を見ることができて、本当に良かったです。またいつか行きたいし、今度はもっと身近な所も見てみたい。この研修に参加てきて幸せでした。

いざれ日本を脅かすであろう潜在的な力を秘めていると思われます。私は、そんな国々を感じたいところの研修に参加しました。

最初の訪問地、クアラルンプールでは、多民族の共生する社会をつぶさに見て、もちろん摩擦はあるでしょうが、それすら発展のエネルギーにしてしまいそうな印象を受けました。また、日本人学校も訪問しました。あいにく夏休み中という事で先生方とお話をしました。日本以上かと思われる程

の受験競争の激しさに驚かされました。

翌日、シンガポールに移動。高層ビルが建ち並び、緑濃く、ゴミ一つ落ちていない道路を見て、観光立国としての自覚がそうさせていたのでほど感心しました。

また、当地の老人ホームを訪れ、そこでボランティアをしている若者と交流でき、大変有意義なひとときが過ごせました。滞在中、ボール遊びで見せててくれたお年寄りの笑顔は、万国共通で優しく、思わずこちら

の顔もほころんでしまいました。

バスと列車で移動する旅でしたが、現地の方々と交流する機会が少なかつた事が非常に残念です。研修を終え、国際化する社会に対応する人材を育成するのに、海外派遣は大変意義があり、これからも継続してもらいたいと思いました。今後は、人々の生活にじかに触れ、新たな生活に適応していく事が過ごせました。